

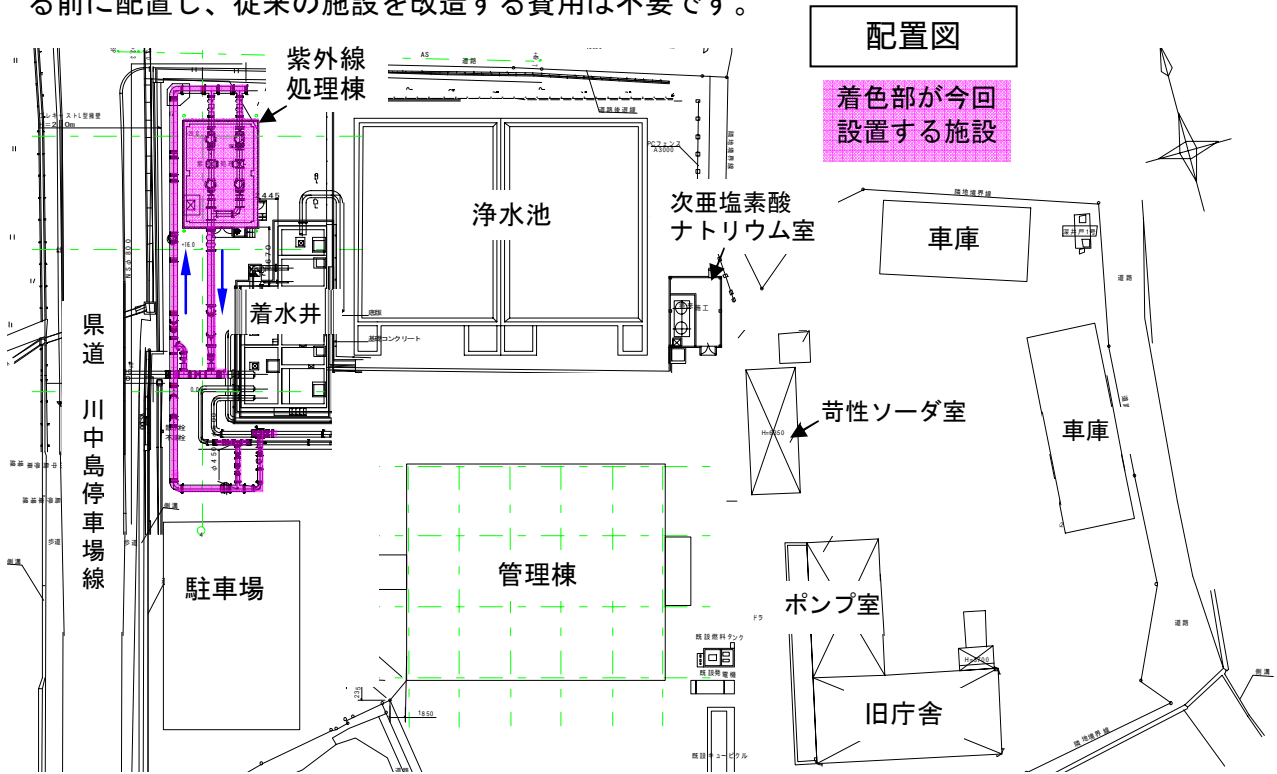
紫外線処理装置について（２）

はじめに

第1回目では紫外線処理装置の概要についてお知らせしました。今回は川中島水道管理事務所に導入する施設の概要についてお知らせします。

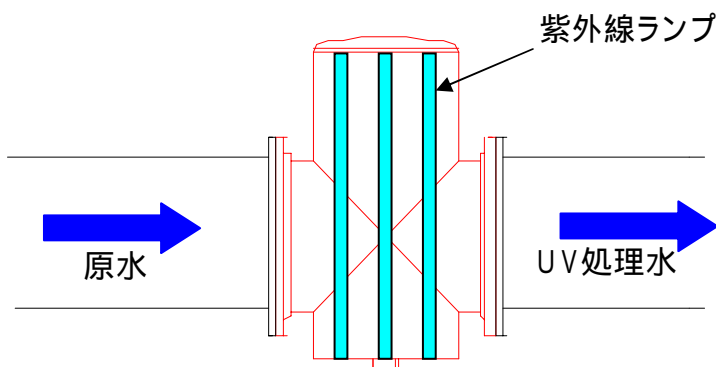
施設配置計画

現在の浄水施設は、各井戸から汲み上げた原水を着水井に集めて、塩素消毒、PH調整を行い浄水池から各配水池へ送水しています。新たに整備する紫外線処理装置は原水が着水井に入る前に配置し、従来の施設を改造する費用は不要です。



装置概要図

紫外線処理装置内部の写真



※写真はランプの方向が左図と異なります

特に耐塩素性病原生物に効果のある波長の紫外線を原水に照射することにより、原水中の耐塩素性病原生物のDNA分子が不安定になりDNAらせん構造が壊れるため、正常に遺伝子が機能せずに繁殖能力を失います。

当所で設置する装置は、1日最大52,400 m³の処理能力があります。